

2019(令和元)年度後期授業アンケート結果の分析・総括について

研究教育開発センター

1. 選択式回答 (5 段階評価)

(1) 全体的傾向 (大学全体の平均値)

授業内容に関わる設問は、下記の 7 項目である。

- ① 授業全体の目標は明確でしたか【目標の明確さ】
- ② 授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか【教員の意欲】
- ③ この授業では、教材などの事前準備がしっかり行われていましたか【準備の周到さ】
- ④ 教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか【明瞭な話し方】
- ⑤ この授業は、学習しやすい環境が保たれていましたか【環境の整備】
- ⑥ 学びに対する意欲をかきたてられましたか【学習意欲の喚起】
- ⑦ この授業を受講して満足しましたか【総合満足度】

大学全体では、【総合満足度】の平均は 4.45 (前年度 4.42) であり、受講生は授業に対しておおむね満足しているといえる。その他の設問の回答の平均についても、4.45 以上 (前年度 4.31) であることから、受講生が総じて授業を高く評価しているといえる。大学全体では、2019 年度後期の④を除く、すべての設問の回答の平均が、2019 年度前期よりも高くなった。

また、教員の意欲や準備について問う設問②【教員の意欲】、設問③【準備の周到さ】の平均は 4.59 以上で、他の設問よりも相対的に高い評価が得られている。

各学科の回答の特徴を比べると、前年度と同様、児童学科、国際文化学科、音楽学科はいずれの設問についても相対的に高い評価が出ている一方で、経済学科はすべての設問について回答の平均が最も低い。ただし、2019 年度の前期と後期の各設問の回答の平均を比べると、経済学部は前期に比べて後期はほとんどの設問の回答が平均を上げている。

(2) 学部・学科別傾向 (授業担当者の所属学科別平均値)

① 経済学部

両学科とも、すべての設問の回答の平均は 4.00 以上であり、おおむね良好な評価を得ているといえる。また、2018 年度から 2019 年度の平均値は徐々にではあるが、改善傾向にあることが見受けられる。しかし、すべての設問の平均が大学全体の平均を下回り、受講生の評価が相対的に低いといわざるをえない。

特筆すべき項目は、教員の意欲や準備について問う設問②【教員の意欲】、設問③【準備の周到さ】の平均は 4.59 以上で、他の設問よりも相対的に高い評価が得られている。

両学科を比較すると、経営学科の平均が⑥【学習意欲の喚起】を除く、それ以外の設問において経済学科の平均を上回っている。

また、両学科の 5 段階評価の平均値についての大きな差はなかった。

② 福祉社会学部

学科別では、すべての設問の回答の平均は、社会福祉学科が 4.42（前年度 4.46）、児童学科が 4.59（前年度 4.62）であり、5 段階評価としてはかなり高い評価を得ている。特に総括的に評価する設問⑦【総合満足度】は両学科とも 4.44 を上回り、受講生は授業に対しておおむね満足しているといえる。

7 項目設問の大学全体 4.49（前年度 4.48）と比較すると、⑥【学習意欲の喚起】を除く、それ以外の設問において児童学科は平均を上回り、社会福祉学科はやや下回っているものの、高い評価を得ているといえる。

また、両学科で 7 項目の設問のうち 0.15 以上の差が生じるのは、【目標の明確さ】(0.15)、【教員の意欲】(0.16) であった。

③ 国際文化学部

すべての設問の回答において、両学科とも 大学全体の平均以上であり、評価は相対的に高い。授業を総括的に評価する設問⑦【総合満足度】の平均は、両学科とも 4.49 以上の評価で、受講生は授業に対しておおむね満足しているといえる。

7 項目設問の大学全体 4.49（前年度 4.47）と比較すると、すべての設問において両学科とも平均を上回り、高い評価を得ているといえる。

また、両学科で 7 項目の設問のうち 0.10 以上の差が生じるのは、【総合満足度】(0.12) のみという結果となっており、それ以外は両学科との大きな差異はない。

その他、国際文化学科の場合、【学習意欲の喚起】及び【総合満足度】は他の設問に比べると若干低い。音楽学科は、少人数教育のゆえか、全体的に数値が高く出ている。

※前期と後期を比較したときの学科別の違いは興味深い。しかし、前期と後期で同一科目が開講されているわけではないため、実際に授業改善が行われた結果として授業の評価が高まったのかは不明である。

2. 自由記述式回答

(1) 「良い点」(全体的傾向)

① 授業準備・開始段階での配慮

事前の授業準備（予習課題等）の具体的な指示／アイスブレイクなどの雰囲気づくり／将来（就職）を見据えた講義の意義説明／授業のはじまりにする簡潔な復習

② 教材等に関する配慮

見やすくわかりやすい資料／プリントが書き込み式でわかりやすい／資料が豊富／わかりやすいパワーポイント／興味深い動画の活用／ノートする時間の確保／

③ 授業内容・形態に関する配慮

イメージがわかりやすい身近な話題の提供／グループワークによるディスカッション／プレゼンテーションの機会／外部講師による講義／講義終末の確認問題／実践的な模擬授業／グループワークでのコミュニケーション力の育成や積極的な授業参加

④ 学生との接し方、話し方に関する配慮

質問しやすい環境づくり／意見・質問へのコメント返却／スマートフォン使用への適切な対処／TAの親切的な対応／親しみやすい口調／個別の丁寧な指導

⑤ その他

役に立つレポートの書き方指導／毎回の課題や小テスト／細かな成績評価

(2) 「改善を要する点」

① 授業計画の不明瞭さ、授業準備の不足

シラバスからの逸脱／資料がない／1回の授業内容が詰め込みすぎる／出所不明のデータの使用／適切な事前学習の指示がない／授業の目的が明確でない

② 話の聞き取りづらさ

話すスピードが速すぎる／声が小さい／滑舌が悪い／マイクを使用してほしい

③ 板書、スライド等の見づらさ

板書の字が小さい・汚い／配布資料の文字が小さい／パワーポイントの資料を配布してほしい／パワーポイントの画面切り替えが早い／パワーポイントの字がみづらい

④ 授業内容のわかりづらさ

説明がわかりにくい／学生の理解を確認せずに授業を進める／板書をノートさせるだけ／自分たちに合ったレベルでの授業をしてほしい

⑤ 学生への対応について

私語を放置せず注意してほしい／出席確認を厳しくすべき／広い教室では学生を前の方に座らせたほうがよい／留学生が日本語での授業を理解できていない

⑥ 教員の態度について

授業に遅刻してくる／感情的な発言はやめてほしい／授業と関係ない話が多い／男女や人によって対応を変えないでほしい

⑦ その他

出欠をしっかりと確認してほしい／留学生がグループワークに参加できない／課題が多すぎる／授業が時間に終わらないことがあった

【自由記述項目の総括】

2019年後期の受講生の自由記述から見て取ることのできる「良い授業」の条件とは概ね以下のとおりである。

授業の目的や意義を明示しており、予習等を具体的に指示し、授業中に簡潔な復習や意見・質問へのコメント返却をする。また、見やすい板書を心掛け、パワーポイントや映像教材を適切に使用する。学生の理解を確認しながらレベルに応じた内容の説明を丁寧に行う。さらに、グループ

ワークやディスカッションなどのアクティブラーニングを取り入れている。私語やスマートフォン、出席管理に厳格に対応し、公平かつ快適な学習環境の維持に努めている。

一つの授業で上記のことすべてを完璧に実行することは困難であろうが、授業を評価・点検し改善するうえで参考になるモデルといえる。

しかし、受講生の声を真摯に受け止めねばならないのは当然のことであるが、これらを全て鵜呑みにすることは、授業の内容のレベル低下、学問的意義の喪失、大学への甘えや増長などにつながりかねない。従って、受講生の要望については慎重に取捨選択し、授業改善に臨むべきと思われる。各教員の手腕が問われるのであろう。

また、本年度後期の授業アンケートでは、コロナ禍における受講生の声をすくいあげるために、自由記述の欄へ新規設問として、「新型コロナウイルス感染症の影響で、今学期は数度にわたりオンライン授業を実施しました。この授業でのオンライン授業を実施しましたが、あなたはどのように取り組みましたか。また、オンライン授業を受けるにあたって、大学・教員からどのような支援があればよいと思いますか。」を設けて、アンケートを実施した。

たくさんの意見が寄せられたが、その大半は次のようであった。

- ・ 対面授業が一度も実施されず、試験もレポートで済まされてしまったことに不満を感じた。履修した意味がないので、授業料の一部返還を求めたい。
- ・ 対面授業を増やしてほしい。
- ・ LINE は利用しづらい。ポータルやメールシステムに変更して欲しい。moodle よりも LiveCampus の方が使いやすい。
- ・ Google ドライブの授業映像を見直したい時に確認できなかったので、映像授業の公開時間、日数をもっと伸ばして欲しい。
- ・ 遠隔授業の種類が多岐にわたっているので、わかりづらかった。

これらの意見を集約するならば、レポート課題を中心にしたものより、オンライン授業、特に Zoom を利用した講義を望む声を多かったといえる。また、遠隔授業の種類が多いので、それぞれに対応しなければならない煩わしさを感じていることが多く散見された。そのために、統一手法による遠隔授業を求める声が多かったのであろう。

授業内容に関する大学全体・学科別平均値の集計

アンケート設問Ⅲの設問①～⑦について、5段階評価の平均値を大学全体・学科別に表にまとめた。ここでは、前期と後期を比較しているが、それぞれにおいて全く同じ科目が開講されているわけではないことに留意されたい。

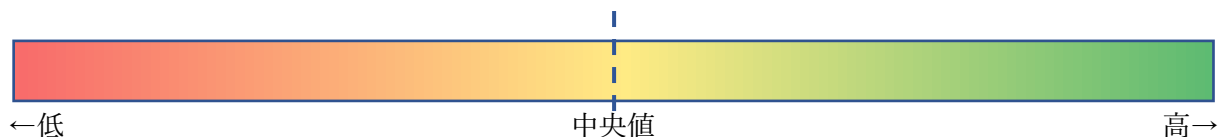
5段階評価の内容は、次のとおりである。

5：そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：どちらとも言えない
2：どちらかといえばそう思わない 1：そうは思わない

設問①～⑦は、次のように略記する。

①【目標の明確さ】 ②【教員の意欲】 ③【準備の周到さ】 ④【明瞭な話し方】
⑤【環境の整備】 ⑥【学習意欲の喚起】 ⑦【総合満足度】

表は、評価傾向を把握しやすいよう、次のカースケールを用いて着色した。



着色の範囲は、①大学全体、②全学科の2領域としている。ただし、回答数が極端に少ない人間文化学科は除外した。

設問	大学全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科	人間文化学科
①授業全体の目標は明確でしたか	①							
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか								
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか								
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか								
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか								
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか								
⑦この授業を受講して満足しましたか								

2019 年度後期授業アンケートの 5 段階評価の平均値

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科	人間文化学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.51	4.35	4.38	4.46	4.61	4.56	4.64	-
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.59	4.45	4.49	4.52	4.68	4.66	4.68	-
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.62	4.49	4.53	4.54	4.69	4.70	4.69	-
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか	4.46	4.30	4.32	4.44	4.53	4.55	4.61	-
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.50	4.34	4.35	4.47	4.59	4.54	4.63	-
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.33	4.14	4.12	4.35	4.44	4.40	4.48	-
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.45	4.25	4.29	4.44	4.56	4.49	4.61	-

【参考】

2019 年度前期授業アンケートの 5 段階評価の平均値

設問	大学 全体	経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		
		経済学科	経営学科	社会福祉学科	児童学科	国際文化学科	音楽学科	人間文化学科
①授業全体の目標は明確でしたか	4.45	4.32	4.37	4.43	4.53	4.51	4.49	5.00
②授業に対する教員の意欲が感じられたと思いますか	4.57	4.43	4.46	4.55	4.64	4.67	4.69	5.00
③教材などの事前準備がしっかり行われていましたか	4.59	4.46	4.51	4.57	4.65	4.69	4.72	5.00
④教員の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思いましたか	4.40	4.26	4.31	4.42	4.45	4.48	4.51	5.00
⑤学習しやすい環境が保たれていましたか	4.45	4.31	4.38	4.46	4.53	4.51	4.57	4.75
⑥学びに対する意欲をかきたてられましたか	4.26	4.11	4.14	4.30	4.36	4.35	4.30	5.00
⑦この授業を受講して満足しましたか	4.37	4.23	4.25	4.41	4.46	4.45	4.40	5.00

以 上